

令和5年度 地域リハビリテーション人材育成研修 実施要領

1. 趣旨（目的）

近年、高齢者、障害者、児童等への総合的な支援体制の構築や地域包括ケアシステムの構築に向けてリハビリテーション専門職（以下、リハ専門職）の専門性が強く求められている。一方、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのリハ専門職は教育課程において、「障害や疾病」に関する専門性を持っているが、地域包括ケアシステムなどの地域リハビリテーション（以下、地域リハ）の推進に必要な「地域資源などの地域現状の理解」や「地域とのネットワーク構築」、そして地域でその専門性を活かす「コーディネート」に関する教育を受けているとはいいがたい。

そこで、地域リハを推進するために、リハ専門職が自らの“地域”を理解し、業務を行う上で必要となる基礎的な知識や技術を習得することにより、地域住民がどのライフステージにおいても住みなれた場所で暮らし続けることができる地域づくりに寄与できるリハ専門職の人材育成を目的に事業を実施する。

2. 実施主体

滋賀県立リハビリテーションセンター

3. 共催

滋賀県理学療法士会、滋賀県作業療法士会、滋賀県言語聴覚士会

4. 対象者

下記(1)～(3)のすべてを満たすもの

- (1) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士として3年以上の経験を有し、県内で勤務している者
- (2) 地域リハビリテーションの推進に寄与する意欲がある者
- (3) 所属機関から推薦および承諾を受けた者

(* (1)～(3)を満たさないもので受講を希望される場合は要相談。)

5. 研修期間

令和5年7月～令和6年3月

6. 内容

別添シラバス参照

*新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、研修内容の変更や日程の延期をする場合があります。

*オンライン形式と集合形式にて実施します。

7. 方法

新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、オンライン（Zoom）にて研修を実施します。見学実習は協力施設と調整の上、実地で実施する予定ですが、変更する可能性があります。尚、感染症拡大の事態が終息する見込みがあれば、当センターでの参集型研修として実施いたしますので、その場合は、随時メール等でご連絡いたします。

8. 受講定員

15名程度

*一部オンライン形式で演習等の実施を予定しているため、受講希望者多数の場合は受講をお断りする場合があります。

9. 受講の申し込みと受講者の決定

(1)申し込み

1) 様式1については原則下記アドレスまたはQRコードのしがネット受付サービスにより申し込みがネット受付サービスが利用できない場合は、所定様式1をご利用ください。

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/jinnzai-r5>

2) 推薦書(様式2)を郵送で送付

*現在所属・勤務先がない方については推薦書(様式2)の提出は不要です。



(2)申し込み期間

令和5年5月15日(月)～令和5年6月16日(金) 17:00 必着(締め切り厳守)

(3)申し込み先

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4-30

滋賀県立リハビリテーションセンター事業推進係 宛

(4)受講者の決定

受講者の決定は、滋賀県立リハビリテーションセンター所長が行い、すべての申込者に対し、文書で受講の可否について通知を行います。

10. 受講料

研修費および教材費は無料

*研修開催地までの交通費は自己負担です。

*万が一、研修中に盗難およびその他物的事故等が発生いたしましても、当センターは責任を負いかねますのでご了承お願い致します。

11. 修了について

(1)修了要件

原則、講義・演習を含む全てのカリキュラムに出席することとしています。

*ただし、オンラインの出席ができず、後日、配信等で補講が実施可能なカリキュラムについては、補講およびレポート提出にて出席とみなします。

*受講者が欠席等で年度内に全てのカリキュラムを修了することができなかった場合は、欠席した講座内容に対応する次年度の講座を受講することで、修了に必要な要件を満たすことができます。(この場合修了証書の授与は、要件を満たした年度末とします。) 注：予算状況次第で、次年度同様の研修が開催されない場合があります。

(2)修了した者には、修了証書を授与します。

(3)修了者のうち同意の得られた者については、研修修了者として名簿を作成し、広く公開します。

【お問い合わせ先】

滋賀県立リハビリテーションセンター事業推進係

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4-30

Tel:077-582-8157 FAX:077-582-5726 E-mail:eg3001@pref.shiga.lg.jp

(様式1：令和5年度地域リハビリテーション人材育成研修 申込書)

受講申込については、しがネット受付サービスにより下記アドレスまたはQRコードからお申し込みください。

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/jinnzai-r5>
研修中はしがネット受付サービスを利用しレポートなど提出していただきますので、利用者登録をしていただきますと今後スムーズに申請ができます。

しがネット受付サービスが利用できない場合は下記様式をお使いください。



令和5年度 地域リハビリテーション人材育成研修 申込書

| | | | |
|--------------------------|--|------------------------------------|--|
| ふりがな 氏名 | | 自宅 現住所 | 〒 - |
| 生年月日 | 昭和・平成 年 月 日 (歳) | 連絡先 | 携帯電話番号 - - |
| 職種 | PT ・ OT ・ ST | | E-mail (PC) *申込時に空メールを事務局へ送信願います。 @ |
| 免許取得 年月日 | 昭和・平成 年 月 日 (年目) | | |
| 職能団体 への所属 | <input type="checkbox"/> 所属している <input type="checkbox"/> 所属していない 団体名 () 会員番号 () | | |
| 職歴 *経験年数がわか るように記載 | 昭和・平成・令和 年 月～ (現職) 昭和・平成・令和 年 月～昭和・平成・令和 年 月 昭和・平成 年 月～昭和・平成・令和 年 月 | | |
| 勤務先 | 有 ・ 無 | 名称 担当部署 所在地 連絡先 (TEL) - - | |
| その他 保持資格 | | | |
| 社会活動 など | | | |
| 受講動機 理由 | *何を学び、今後どのように活かしていきたいと考えているかを具体的に記載ください。 | | |
| その他 | *受講申し込み時点ですでに出席が困難な日がある場合、その日および理由も記載ください。 | | |

*お申し込みによって得た個人情報、当研修会の申し込み手続きおよび運営（参加者把握等）のためにのみ利用し、法令等に基づく場合を除き、あらかじめご本人の同意をいただくことなく、外部に提供することはありません。 提出先：滋賀県守山市守山5丁目4-30 滋賀県立リハビリテーションセンター 事業推進係
提出期限：令和5年6月16日(金) 17:00(必着)

受講推薦書

受講申込者 氏名 : _____ 印

所属機関名 : _____

上記の者を、貴研修会の受講者として推薦いたします。

令和 年 月 日

所属機関名 : _____

所属機関所在地 : _____

代表者氏名 : _____ 印

提出先 : 滋賀県守山市守山5丁目4-30 滋賀県立リハビリテーションセンター 事業推進係

提出期限 : 令和5年6月16日(金) 17:00 (必着)

令和5年度 地域リハビリテーション人材育成研修会 シラバス

◎カリキュラム総時間 2430分

I. 地域共生社会に求められるリハビリテーション職種（675分） 7月中旬～9月

◎受講生の到達目標

- ・地域 / 地域共生社会とは何か考えを述べることができる。
- ・様々なライフサイクルの中で自助・互助・共助・公助が絡み合うことの大切さを説明することができる。
- ・地域共生社会の実現に求められているリハ職像を述べるができる。
- ・様々な制度や社会情勢の中で、リハ専門職が活躍していることを知っている。

■内容および講師

| タイトル | 時間 | 講師候補（所属・氏名） |
|--|-------------|--|
| ①滋賀県立リハビリテーションセンターのこれまでの動きと研修の狙い | 45分 | 滋賀県立リハビリテーションセンター 事業推進係長 田所 愛理 |
| ②地域共生社会の実現に向けた動きと方向性 | 90分 | 政策研究大学院大学 小野 太一 氏 |
| ③地域リハビリテーションの基本理念と地域共生社会に向けて地域で求められるリハ職 | 90分 | 神戸学院大学 備酒 伸彦 氏 |
| ④地域共生社会の実現に向けて先進的な取り組みを行うリハ職の実践 -リハ職の視点を地域社会に活かす- (子ども分野) (就労分野) (高齢分野) (スポーツ分野) (産業保健分野) | 各90分 5コマ | <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人はびりす 鹿野 昭幸 氏 (PT) ・NPO 法人クロスジョブ 巴 美菜子 (OT) ・津山市役所 高齢介護課 安本 勝博 氏 (OT) ・元大阪府立大学 奥田 邦晴 氏 (PT) ・一般社団法人働く人の健康と安全を守る会 高野 賢一郎 氏 (PT) |

II. 地域リハビリテーションを推進する地域資源とその現状（720分） 9月～11月

◎受講生の到達目標

- ・滋賀県の医療福祉、障害福祉の仕組み（理念・法律・サービス・地域での動き）について概要を知っている
- ・地域共生社会の実現に向けて活動する医療福祉、障害福祉の取り組みについて知っている

■内容および講師

| タイトル | 時間 | 講師候補（所属・氏名） |
|------------------------------|-------------|--------------------------------|
| ①障害福祉を取り巻く法制度の概要基礎—共生社会に向けて— | 90分 | 滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長 大平 眞太郎 氏 |
| ②障害福祉分野等における県内のリハ職の実践事例 | 各45分 2コマ | 地域リハ人材育成研修会修了生 |

| | | |
|--------------------------------|-------------|---|
| ③滋賀県の障害福祉における政策とリハビリテーション職への期待 | 40分 | 滋賀県健康医療福祉部障害福祉課 課長 長谷川 貴也 |
| ④滋賀県の医療福祉における政策とリハビリテーション職への期待 | 各40分 2コマ | ・滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課 課長 飯田 朋子 ・滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課 課長 北川 肇 |
| ⑤見学実習 | 210分 2コマ | 滋賀県内各施設 *医療福祉、障害福祉に係る事業所等 |

Ⅲ. 地域リハビリテーションの推進に求められる能力 (360分) 11月～12月

◎受講生の到達目標

- ・地域リハビリテーションを支える支援者の専門性や価値観を説明できる
- ・リハ専門職の専門性を他の支援者に理解できるように説明することができる
- ・自らが勤める地域にどのような地域資源があるか調べ、述べるができる
- ・地域診断に必要な能力を述べるができる

■内容および講師

| タイトル | 時間 | 講師候補 (所属・氏名) |
|-------------------------|------|--------------------------|
| ①リハ専門職に求められる多職種連携に必要な能力 | 180分 | 吉備国際大学保健医療福祉学部 京極 真 氏 |
| ②リハ専門職に求められる地域評価・診断の基礎 | 180分 | 文京学院大学 上地 賢 氏 |

Ⅳ. 地域リハビリテーションの推進に向けた実践 (675分) 1月～2月

◎受講生の到達目標

- ・包括的に“人”や“地域”を見る視点を再確認することができる
- ・リハ職が自らの視点を他職種に理解してもらえるような説明が行える
- ・地域での課題を解決するための方策を立案できる
- ・これから地域でリハ専門職に求められる能力を述べ、自らのこれからの行動立案が行える

■内容および講師

| タイトル | 時間 | 講師候補 (所属・氏名) |
|------------------------|------|--|
| ①地域リハビリテーションマネジメント基礎演習 | 315分 | 神戸学院大学 備酒 伸彦 氏 *ファシリテーター (修了生) |
| ②地域リハビリテーションマネジメント応用演習 | 360分 | 神戸学院大学 備酒 伸彦 氏 ・コメンテーター 滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課職員 人材育成協議会委員など |

令和5年度 地域リハビリテーション人材育成研修会 日程表

| 回・開催形態 | 日時 | カリキュラム名・講師 |
|-------------|--------------------------|--|
| 第1回 WEB | 7月21日(金) 18:30~20:00 | (オリエンテーション) 滋賀県立リハビリテーションセンターのこれまでの動きと研修の狙い(45分) 滋賀県立リハビリテーションセンター 事業推進係長 田所 愛理 (理学療法士) 参加者自己紹介 |
| 第2回 集合研修 | 7月22日(土) 12:00~13:30 | (講義) 地域共生社会の実現に向けた動きと方向性(90分) 政策研究大学院大学 小野 太一 氏 |
| | 13:45~15:15 | (講義) 地域リハビリテーションの基本理念と地域共生社会に向けて地域で求められるリハ職(90分) 神戸学院大学 教授 備酒 伸彦 氏 (理学療法士) |
| 第3回 WEB | 8月6日(日) 9:00~10:30 | (講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践~スポーツ分野~(90分) 元 大阪府立大学 奥田 邦晴 氏 (理学療法士) |
| | 10:45~12:15 | (講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践~就労分野~(90分) NPO 法人クロスジョブ 巴 美菜子 氏 (作業療法士) |
| 第4回 WEB | 9月3日(日) 9:00~10:30 | (講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践~子ども分野~(90分) NPO 法人はびりす 鹿野 昭幸 氏 (理学療法士) |
| | 10:45~12:15 | (講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践~産業衛生分野~(90分) 一般社団法人働く人の健康と安全を守る会 高野 賢一郎 氏 (理学療法士) |
| 第5回 集合 | 9月24日(日) 13:00~14:30 | (講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践~高齢分野~(90分) 津山市役所 安本 勝博 氏 (作業療法士) |
| | 14:45~16:15 | (講義) 障害福祉分野等における県内のリハ職の実践事例(90分) 地域リハ実践 地域リハビリテーション人材育成修了生より |
| 第6回 | 9月~12月 | (見学実習) |
| 第7回 | ※平日で調整予定 | 滋賀県内の地域共生社会の実現に向けた先進的な取り組み(210分 各2回) |
| 第8回 WEB | 10月15日(日) 10:00~11:30 | (講義) 障害福祉を取り巻く法制度の概要の基礎~共生社会に向けて~(90分) 滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長 大平 眞太郎 氏 |
| 第9回 WEB | 11月5日(日) 10:00~12:20 | (講義) 滋賀県の障害福祉における政策とリハビリテーション専門職への期待(40分) 滋賀県健康医療福祉部障害福祉課 課長 長谷川 貴也 |
| | | (講義) 滋賀県の医療福祉における政策とリハビリテーション専門職への期待(各40分) 滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課 課長 飯田 朋子 滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課 課長 北川 肇 |
| 第10回 WEB | 11月19日(日) 13:00~16:00 | (講義・演習) リハ専門職に求められる多職種連携に必要な能力(180分) 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業療法学科 京極 真 氏 (作業療法士) |
| 第11回 集合 | 12月10日(日) 13:00~16:00 | (講義・演習) リハ専門職に求められる地域評価・診断の基礎 (180分) 文京学院大学健康科学部 講師 上地 賢 氏 (保健師) |
| 第12回 集合 | 1月28日(日) 10:00~16:15 | (講義・演習) 地域リハビリテーションマネジメント基礎演習 (315分) 神戸学院大学 教授 備酒 伸彦 氏 (理学療法士) |
| 第13回 集合 | 3月3日(日) 10:00~17:00 | (講義・演習) 地域リハビリテーションマネジメント実践演習 (360分) 神戸学院大学 教授 備酒 伸彦 氏 (理学療法士) |

*講師の都合や感染症拡大の状況等により、日程やカリキュラム、研修手法の変更または研修中止になることがあります。

*オンライン (Zoom) での研修の際は、開始前に事務連絡を行いますので、開始時間の5分前にはログインしてください。

大募集

地域リハビリテーションのこと本気で学んでみませんか？

応募資格

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士（詳細は実施要領参照）

内容

地域リハビリテーションに関する講義・演習・見学実習 など

場所

オンライン（Zoom）にて実施（※見学実習は現地開催を予定）

期間

令和5年7月～令和6年3月

費用

無料（ただし、交通費等は別途負担要）

定員

15名程度

申込方法

別添（様式1）オンライン申請（様式2）を郵送にて提出

申込締切

令和5年6月16日（金）17:00 必着

その他

詳細は実施要領をご参照ください。

（滋賀県立リハビリテーションセンターホームページに掲載しております。）

共催

公益社団法人滋賀県理学療法士会

一般社団法人滋賀県作業療法士会

滋賀県言語聴覚士会



応募・問い合わせ先

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4-30

滋賀県立リハビリテーションセンター 事業推進係

TEL 077-582-8157 FAX 077-582-5726

E-mail eg3001@pref.shiga.lg.jp